



令和8年7月号

学校教育目標『夢と理想を掲げ、よりよい社会を創造する西中生』

西中学校だより

TEL 048-553-1434 / FAX 048-553-1302



『一食に込められたもの』

校長 橋本 良典

6月は、台風の動きや地震が発生し災害が心配される月となりました。

彼是、45年も前の話、私が中学生の頃は、土曜日に毎週授業があり午後の部活動のため弁当を持参していました。母が作ってくれていた弁当ですが、見られるのが恥ずかしく友達に見られないように隠して食べていました。

母はもともと視力が弱く、眼鏡をかけてもよく見えていないことはわかっていました。そんな中、70歳を目前にした頃、交通事故で右目を負傷しました。医師から治療を勧められても、「これまでもよく見えていなかったから、このままでいい」と頑なに拒否し治療を受けることはありませんでした。

思えば母は、性格が大雑把なのか、また、どの程度見えている中で弁当を作ってくれていたのか、そして、交通事故の時も車が見えていたのかは分かりません。結局、そのことについて聞くこともありませんでした。そんな親子関係でしたが当時、欠かさず弁当を用意してくれていた母の姿を思い返すと、そこには大きな愛情と「一食の用意」がどれほど大切なことだったのか、感慨深いです。

私は教員になり、担任として学校行事などの弁当の日は班の机の並びではなく、黒板を向いた一方向で食べさせたのでした。もしかしたら「弁当を見られたくない」と思っている生徒がいるかもしれないとの思いからでした。そして、亡き母に対しては後悔があります。作ってくれた弁当に対して、感謝の気持ちを上手く伝えられなかったことや母の視力が弱いこと、眼の治療に対して、子としてもっとやってあげることがあったのではないかとということです。

そして現在、行田市の小・中学校ではセンター方式による給食が提供されています。この給食は、すべての児童・生徒にとって大切な「喫食の機会」であり、心身の成長を支える貴重な時間でもあります。また、家族不在や働いているなど様々な事情の中で、学校給食によって大切な栄養をしっかりと蓄えている生徒もいます。家庭での食事とともに、「一食」が果たしている役割（食の提供）の大きさを私たちは改めて心に留め、食事への感謝の気持ちを大切にしていきたいものです。

北埼玉地区夏季総合体育大会 県大会出場者（陸上競技・体操競技）

【陸上競技】 《男子》1年100m: ()、200m: ()、
1500m: ()、110mH: ()、
4×100mR: ()・()・()・()・()・()
《女子》2年100m: ()、3年100m: ()、100mH: ()、
走高跳: ()、砲丸投: ()、円盤投: ()

【体操競技】 《女子個人》()、() 《男子団体》()、()、()

修学旅行 奈良・京都 令和8年6月26日(金)～令和8年6月28日(日)



7月の主な予定



- 1日(水) 専門委員会 部休
- 2日(木) 総合学力調査
- 10日(金) 1・2年授業参観, 3年進路説明会, 学級懇談会, ⑥カット
- 13日(月) A 短授業
- 14日(火) A 短授業 5時間(①②③④⑤)
- 15日(水) A 短授業 4時間(③④⑤⑥)給食終了 部休 ふれあいデー
- 16日(木) A 短授業 3時間(集会・学活・大掃除)
- 17日(金) 終業式 (終業式・学活)

